

新利根公民館だより 令和5年11月号

編集・発行 新利根公民館
稲敷市伊佐津 3239 番地 1
029-892-2000 (代表)



集い

学び

結ぶ

令和5年度 稲敷市文化祭

～新利根公民館まつり～

★沢山のご来場ありがとうございました★

【11月3日】模擬店



【11月3日～5日】作品展示





【11月3日】芸能発表会



あざみフォークダンス



クウレイ・フヒ



いなしきカラオケセミナー



カラオケ睦会



紅太鼓



民謡クラブ



日頃の練習の成果を存分に発揮された発表となりました。

裏へ続く



【11月5日 お楽しみ広場】

*沢山のご参加有難うございました。



***ボランティアスタッフの中学・高校生達も大活躍でした！**

第2回 新利根公民館運営企画委員会を開催しました

10月29日、新利根公民館運営企画委員会が開催されました。アドバイザーの廣瀬隆人先生とともに「公民館講座を考える」をテーマに、グループワークを行いました。中学生、高校生委員からも多くの意見がでて、とても活発な議論になりました。「人が集まれる場」や「シンプルにみんなが参加しやすいもの」などの講座を企画しました。今後開催する公民館講座に反映していきたいと思います。



【地区講座】間もなく受付終了です

《新利根公民館》

にこにこ巻き寿司は受付終了致しました。

☎029-89-2000

「キムチ味噌」11月19日(日) 「おせち料理」11月30日(木)

まで受付可能です。新利根公民館に直接、またはお電話で！

後期公民館講座が始まりました

～「はつらつ歌声」講座～



この度、新利根体育館から公民館の「和室」にピアノが移動されました。先生の素敵な伴奏で懐かしい、あの頃の歌を思いっきり唄いました。
♪東京ブギウギ♪も元気に唄ったよ！

季節の風物詩

七五三に欠かせない「千歳飴」の由来

七五三に欠かせない千歳飴は、江戸時代に浅草の飴売りが、子どものお宮参りのお土産として考案したのが始まりと言われています。昔は子どもが病気になることが多かったので、長生きできるよう長～く伸ばした飴を作り、千年飴、寿命飴として売り出しました。その後「千歳飴」と呼ばれるようになり、七五三に用いられるようになっていきました。千歳飴の袋には、鶴亀、松竹梅、翁と媪など、長寿にまつわる縁起の良い絵柄が多くみられます。また、紅白の飴は年の数だけ袋に入れると良いとされています。

～暮らしの歳時記より～

11月の納税

国民健康保険税	5期	期限11月30日
後期高齢者医療保険料	5期	期限11月30日



【公民館まつり華道の展示作品】